

計算 用紙

まい月

はじめに

本書は著者が試してみたいと思うことをリストするという体でLaTeXとTikZを練習する文書である。

目次

はじめに	ii
目次	iii
1 ステ이블コインのようなもの	1
1.1 目標	2
1.2 状況	2
1.3 ためしてみたい解決策	2
1.4 心配なところ	2

第1章

ステーブルコインのようなもの

まずブロックチェーンに何か1つは価値のあるトークンがありスマートコントラクトが実装されている状況を前提として、それ以外の便利なものは一旦前提としない。

1.1 目標

ステーブルコイン、すなわちトークンの価値が法定通貨と概ね連動すればよい。ただ今回は一旦本当のやりたいことを含むようにより広い範疇で「ブロックチェーンの外にあるものの価値と概ね連動するトークンを中央の管理者なしに実現すること」を実際の目標とする。

1.2 状況

ブロックチェーンで流通するトークン🍎を裏付けとして、ある価値🍎と連動したトークン🍌を発行したい。

1.3 ためしてみたい解決策

次のようなスマートコントラクトを考える：

1. ガバナンス又はハードコードによって $0 < L$ なる L を決める。
2. 参加者は n 個の L 倍の価値を超える数量の🍎をスマートコントラクトに預けて、 n 個の🍌と、このポジションを表現するトークン鑄造してもらう。
 - (a) このとき鑄造してもらったものを返してburnしてもらうことで預けた🍎を全部返してもらえる
3. スマートコントラクトは🍎と🍌をAMMかオーダーブックなどのうち、なにかいい方法で売買する機能もつけておく
4. 最後に取引された価格で、損しているポジションがあれば、ポジションを強制決済する。
 - (a) このときポジションを表現するトークンはburnされる

1.4 心配なところ

流動性不足が圧倒的に心配である。また連動するかということも心配である。